

平成25年度学力向上マニフェスト

荒川区立第三中学校

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要(実施内容)	評価指標 取組指標（教師側の指標） 成果指標（子ども側の指標）	予算執行	取組の成果	評価
外部人材によるきめ細かな指導の充実	外部人材講師(ティーチングアシスタント)により個に応じたきめ細かな指導の充実と学ぶ意欲の向上を図る。(学生による生徒への学習支援)	○年間100回以上(含区のTA)のティーチングアシスタントよりの支援を得る。	ティーチングアシスタント報償費70,000円 (@2,000×35回)		
		○荒川区学力調査で全教科で区の平均到達度、達成率を超える。 ○都の学力調査で全教科で都の平均を超える。			
「三中でらこや」による補充・発展学習の充実	夜間の補充・発展学習「三中でらこや」により、検定(漢字、英語、数学)を目指した学習に取り組み、学力向上の目標化と学習刺激とさせる。(外部講師(学生)による夜間の学習会、検定の実施)	○年間30回の「三中でらこや」を実施する。 ○年間100回のティーチングアシスタントよりの支援を得る。 ○毎回2名ずつの教員の監督をおく。	ティーチングアシスタント報償費200,000円 (@2,000×100回) e-ライブラリ数学1セット73,000円		
		○年間9回の検定(漢字、数学、英語)を実施し、 ○年間総数450名の受験者、300名の合格者(級の取得者)を目指す。			
授業の工夫・改善	電子黒板を活用し、電子教科書により授業の可視化を進め、分かる授業、分かりやすい授業への工夫・改善とする。	○デジタル教科書コンテンツによる指導方法の工夫・改善 ○各教科(国・社・数・理・英)において年間100回以上使用する。	デジタル教科書コンテンツ1セット (国語、社会、数学、理科、英語) 303,000円		
		○荒川区学力調査で全教科で区の平均を超える。 ○都の学力調査で全教科で都の平均を超える。			
小中一貫教育の推進	小学校と中学校との円滑な接続を図るため教育課程を整備し、共通な指導観、学力観に基づく指導により、確かな学力の定着・向上を図ることを目指し、昨年度より新たな3年間の研究に取り組んでいる。	○2/14に研究発表会を行い3年間のまとめとする。 ○研究授業を全教科で実施し1人1回以上実施する。 ○講師による指導を年間100回以上実施する。 ○交流活動(環境書道、体験授業、部活動体験、合同挨拶運動、合唱交流、ペットボトルキャップ回収等)を実施。	小中一貫教育予算にて執行		
理数教育の推進	小中一貫教育研究指定校の中で理科での連携を充実させる。また、おもしろ探究授業での外部講師による専門的な指導により理科への興味・関心を高める。さらに、東京都理数教育振興研究協力校として理科の研究に取り組む。 (おもしろ探究授業、小中一貫理科・生活科の連携)	○外部講師による1,2年でのおもしろ探究授業を実施。 ○東京都教育委員会理数フロンティア校、小中一貫教育研究指定校としての理科・生活科の連携 ○各学年で理科の実験、実習を年間120時間以上実施。 ○都の学力調査で都の平均値を超える。	人体模型1体154,000円 他、理数フロンティア校予算、校内予算にて執行		
キャリア教育の充実	生徒が自己の生き方を考え、共に学び共に高め合い自己実現を目指すため、「生き方」指導としてのキャリア教育を充実させる。(校内ハローワーク、勤労留学、職場訪問、体験入学、合唱交流、合同環境席書会、環境学習等)	○校内ハローワーク、勤労留学、職場訪問、体験入学、合唱交流、環境席書会、環境学習等の実施。 ○小中一貫教育での実践研究を行い研究発表会を行う。	「未来を拓く子どもの育成」予算、区勤労留学予算、環境学習予算、小中一貫教育予算より執行		
		○生徒による事後学習、発表会、感想文、アンケート ○荒川区学力調査意識調査で区全体より3ポイント以上を目指す。			
体力向上の推進	部活動の充実、武道(剣道)の推進、マラソン大会等により体力向上と運動技能の向上を図り、心身を鍛え健全育成の充実を図るとともに、学力向上の基礎を培う。	○剣道講師、ダンス講師による専門的な指導と心身の鍛練、人間力の向上を目指す。	「創造力あふれる教育の推進」予算、校内予算にて執行		
		○部活動の入部率95%、各大会ベスト8を目指す。 ○文化祭(輝汐祭)、地域行事(汐入まつり、文化祭)において発表し日頃の成果を伝える。			

【評価】 成果指標の達成度から評定(A・B・C)を決める
A:達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する B:達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C:達成度が5割未満 → 目標の見直し